

# 方面別指針の検討

## 主な御意見の趣旨

- 人口確保と産業活性化の観点から、特に、市内の南部、西部、東部の課題に的確に対応し、しっかりと伸ばしていくことが必要
- 京都市は地理的制約があるため、もう少し大きな観点で考えることが必要。「京都都市圏」の視点において、周辺都市との機能分担という考え方も大事
- 南部や西部では交通政策が非常に大事。単に量を増やす発想でなく、合理的なネットワークを構築し、方面間の有機的なつながりをつくっていくことが大事
- 東部だけで考えるよりも、六地蔵から中書島、向島ニュータウン、らくなん進都も視野に入れるなど、東部と南部の関係性について工夫が必要
- 大阪と京都を結ぶ交通網から外れる東部や南部は位置付けが弱い。
- 西部は、周辺都市よりも地価が高く、住宅地として評価を得ている方面である。
- 南部では、産業の誘致か、定住人口の確保か判断していく必要があるが、今のままでは、利便施設も乏しくマンションに対するニーズは弱いかもしれない。
- 東部は、地下鉄東西線沿線が交通至便にもかかわらず、地価が低く、価値を高めるため最も検討が必要な方面である。
- 東部は、公営住宅の再生とともに、教育環境の整備と連動させることが重要

## 京都の都市特性を踏まえた「持続可能な都市構造」の実現

- 論点① 新たな時代の「職住共存・職住近接」
- 論点② 広域的な視点と「都市圏」
- 論点③ これからの「暮らしと営み」に対応したまちづくり

### 本日御意見いただきたい論点

- **方面ごとの将来像（コンセプト・拠点・低未利用地 等）**
- **各方面間の関係性（南部と西部，東部，都心部 等）**
- \* 近隣都市との関係も考慮

### 《各方面の該当エリア，特性・課題等》

方面	北 部	都心部	西 部	南 部	東 部	
概ね該当する行政区	北，上京，左京	中京，下京，東山，南	右京，西京	南，伏見	山科，伏見（醍醐）	
持続プランの5つのエリア	<b>広域拠点エリア</b>	（該当なし）	歴史的都心地区周辺，京都駅周辺，二条・丹波口・梅小路周辺	（該当なし）	（該当なし）	
	<b>地域中核拠点エリア</b>	国際会館，北大路，今出川，出町柳，北野白梅町	丸太町，東山，七条，円町，西院，西大路（他の方面との境界に位置）	嵐山，太秦天神川，西京極，桂，桂川，洛西口，洛西バスターミナル	竹田，丹波橋，桃山御陵前，中書島，淀	山科，柳辻，醍醐，六地蔵
	<b>日常生活エリア</b>	市街化区域（ものづくり産業集積エリアを除く。）				
	<b>ものづくり産業集積エリア</b>	（該当なし）	（該当なし）	西部工業地域（JR線以北），桂川右岸	らくなん進都，横大路，久世，吉祥院，久我・羽束師	（該当なし）
	<b>緑豊かなエリア</b>	市街化調整区域・都市計画区域外				
<b>地域の特性</b>	豊かな自然や文化，伝統産業，大学，学術資源が日常の暮らしに息づく地域	京都ならではの魅力と都市格を象徴し，活力を牽引する地域	自然と文化に囲まれ，学術・先端産業とゆとりある住宅地が広がる京都の西の玄関口	内陸都市・京都におけるものづくり産業の集積地を擁し，創造のまちづくりの中心を担う地域	地下鉄東西線や道路整備等により利便性が向上し，交通の要衝としても位置付けられる京都の東の玄関口	
<b>主な基礎的課題</b>	○伝統や文化・生業の継承 ○森林や農地の保全と集落の維持	○伝統や文化・生業の継承 ○オフィス空間の逼迫	○人口減少 ○働く場の確保	○人口減少 ○産業用地の都市間競合	○人口減少 ○高度成長期のｽﾌﾟｰﾙ開発	
<b>主な検討の視点</b>	地域特有の魅力をいかし，次の世代にも受け継ぐためには	市域全体の活力・ブランド力の向上につなげていくためには	多様な魅力をつなぎ，新たなライフスタイルや価値を創造していくためには	新たな活力を担う創造ゾーンの中心として更に発展していくためには	時代を捉えた魅力が発信でき，多くの若い世代にも選ばれるためには	

（参考：隣接都市）  
（市街化区域で隣接等）

（向日市，長岡京市）

（久御山町，八幡市，宇治市）

（宇治市，大津市）

※都市計画区域外については，方面にとらわれず地域特性を考慮